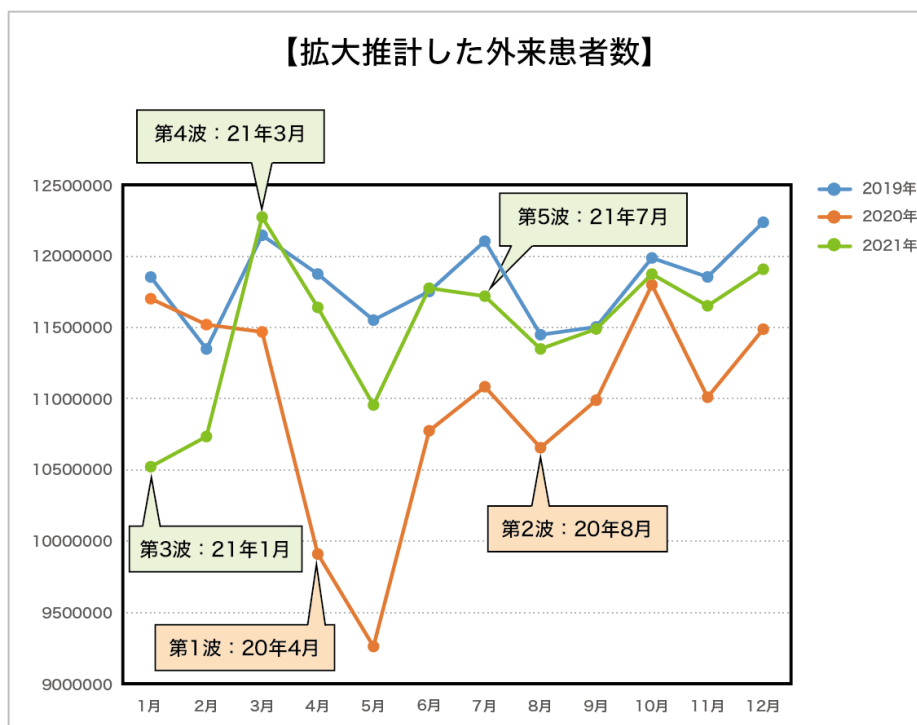


コロナ禍の推計外来患者数の推移 回復基調も受診控えか

医療情報のネットワーク化を推進するメディカル・データ・ビジョン株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：岩崎博之）が、新型コロナウイルス禍の外来患者数を拡大推計（※）して集計したところ、2021年12月に向け回復基調を見せているものの、依然19年水準を下回り、受診控えが続いているものとみられる結果となりました。21年12月の外来患者数は19年比2.7%減（20年は19年比6.1%減）でした。

今回の集計では、当社が二次利用の許諾を得ている急性期医療を提供する全国462病院からの診療データベース（実患者数3,912万人、2022年2月末日集計）のうち、集計期間のデータが全て揃っている378病院のデータを用いました。

※国全体の外来患者数を算出した「拡大推計」とは、MDVが保有する医療機関由来のDPCデータと健康保険組合由来のレセプトデータと厚生労働省のNDBオープンデータを用いて、推計値を算出する機能です。



■ 拡大推計に関するWebセミナー 5月19日開催

MDVは株式会社データック（同、代表取締役兼医師：二宮英樹）と2022年5月19日（木）、「リアルワールドデータ（RWD）から全国値を推計する拡大推計機能のアルゴリズムについて」をテーマにした無料Webセミナーを共催します。セミナーの視聴を希望する報道関係の方は、以下のURLもしくは「二次元コード」からお申込みください。

<URL>

<https://forms.gle/xsjuM7NiLPayfcow5>

<二次元コード>



<本件に関するお問い合わせ・取材のお申し込み>

メディカル・データ・ビジョン株式会社 広報室 担当：君塚・赤羽・汲田

TEL：03-5283-6911（代表） FAX：03-5283-6811 MAIL：pr@mdv.co.jp